

令和6年度第1回青森市景観審議会 会議概要

会議名	令和6年度第1回青森市景観審議会
開催日時・場所	令和6年8月23日(金) 12時45分～13時55分 青森市役所 本庁舎3階 会議室2
出席者	<p><審議委員></p> <p>飯田 善之 委員、石戸 尚 委員、伊藤 芳男 委員、岩瀬 直樹 委員 楠美 耕作 委員、田中 正子 委員、玉熊 訓 委員、常田 隆是 委員 成田 芙美 委員、森内 忠良 委員</p> <p><事務局></p> <p>都市整備部 部長 中井 諒介 理事 土岐 政温 次長 櫻田 文明</p> <p>都市整備部都市政策課 課長 武田 泰孝、主幹 京谷 智 主査 木村 幸司、技師 小川 恵介 技師 山崎 雅淑</p> <p>市民部生活安心課 課長 小山内政広、主幹 一戸 健司 (事業担当課) 主査 秋元 善行</p>
欠席者	服部 浩之 委員
事務局	審議案件1 青森市斎場建替事業【設計段階】 「【配布資料】青森市斎場建替事業【設計段階】」に基づき説明。
委員	東側には出入口や身障者の駐車場がある。ここは雪が深いので雪庇が心配。 雪庇対策の設計や計画の考えはあるのか。
事務局	事業者からは、陸屋根、かつ風によって雪が飛ぶような形状とし、雪庇がたまることを防止するという提案を受けている。
委員	景観上、指定色が定められている。 使用色の色見本はあるのか。
事務局	色に関しては、景観計画で定めた推奨色をベースに、アースカラーの中で考えている。 設計、建築段階でサンプルを見ながら最終的に決定する。
議長 (会長)	カラーイメージというのは、素材によって質感が違う。 ただアースカラーに塗ればいいということではなく、素材や質感を絡めたイメージはどう考えているのか。
事務局	色の選択肢はそれほど多くなかったため、質感に関して事業者と共有してきている。

	材質に関しては現時点で決まっていないが、事業者と協議のうえ、現場で合わせたいと考えている。
委員	弘前の植物園で話題になったことがある白いハンカチがひらひらしてお別れや哀悼の意を表すようなハンカチの木という珍しい木があるが、青森のこの場所に植えることは難しいのか。あればすごく素敵だと思う。
委員	弘前の植物園では、ハンカチの木を30~40年前に植えたが、今は気候が変わったのではっきり言えないが、青森の冬は越せないと思う。
委員	敷地東側にある緑地の遊歩道は、どこを指しているのか。
事務局	4ページの左側の図、斜線ではしご状の二本の線を遊歩道として想定している。
委員	遊歩道というのは回遊するものだと考える。これだと一方通行で、同じ道を行って帰ることになる。遊歩道といえるのか。
事務局	火葬を待つ間だいぶ時間があるので、その間この築山等で散策ができるようにしている。
委員	遊歩道をやめて、極楽浄土をイメージするよう、築山に珪石を配置してはどうか。
事務局	説明の際に申し上げたが、築山はワイルドフラワー仕上にするとしている。
委員	ハナミズキ、サルスベリ、サツキツツジは良いと思うが、冬の板囲いなど維持管理費がかかる。維持管理費を減らしたほうがいいのではないかと。 代替種として紅葉がきれいなハウチワカエデを植えたらどうか。 春には神代桜、梅雨の時期にはアジサイなど。 維持管理費を減らすため、サツキツツジはやめたほうがよい。
事務局	サツキツツジよりもメンテナンス費が掛からないようなものでなかつ、市の推薦樹種の中にあるものであれば、事業者と意見交換の上で検討したい。
委員	遺族の部屋からも植栽が見えるように植栽エリア③を、もう少し西側に延ばせないか。
事務局	植栽エリア③の基本的な考え方は、帰りの車から見たときに緑を見ながら、穏やかに帰っていただきたいということを想定した位置になっている。
委員	築山に植えるワイルドフラワーとは何か。
事務局	芝生ではなくて、それに近く手間がかからないようなということで、ワイルドフラワーという表現にした。 砂ホコリ等が起こらないよう地表を覆うような草、植物と考えている。

委員	玄関アプローチ前の築山に雪庇が落ちてさらに積もった場合、車寄せが暗くなるおそれはないか。
事務局	このポーチには多数ライトが付いているので、十分な明るさを確保できる。 (冬期間) 西風が多いということを考えれば、あまり逆方向に中側に(雪が)吹き込むということがないような形で考えている。 また、必要に応じて除雪を行う。
委員	外灯について、ご説明いただきたい。
事務局	4ページ左側の図面右下のソーラー発電付き外灯1本とする。 施設の運営上、ほぼ日没前に利用者が帰ってしまうので、除雪等メンテナンスの支障にならないよう、駐車場に外灯を設けないこととした。 また、ポーチ下のライトは照度計算の結果であり、日没が多少過ぎたとしても、建物側の駐車場は十分見えるという計算である。
委員	外灯は若干でも必要ではないかと思う。
議長 (会長)	外灯が高い位置ではなく、低い位置の方が照度が取りやすいか。
事務局	外灯は維持管理の面で、十分な検討の結果、必要以上には設置しないこととした。
委員	外構計画の図面の中に、案内サインがいくつか記載されているが、メインの道路(県道青森環状野内線)入口に設置する誘導サイン、もしくは門扉のサインの計画はあるのか。
事務局	青森環状野内線沿いと、敷地内の門扉付近のサインを更新することとしている。 齋場であることから、いずれのサインもデザイン、サイズについては、あまり目立つような(主張が強い)サインにはしない方がいいと考えており、詳細についてはこれからの検討とする。
委員	イメージ、デザインや、サイズ感はこれからということで、了解した。
委員	せっかくこれから造られるので、できれば機能性だけでなく、上品かつ、ふるさと景観賞に挙げてもらえるような素晴らしい建物になればいい。
委員	4ページの参考例の植物が全部ピンク系だなと思った。これはピンク色で統一する意図があるのか。
事務局	樹種の選定については、市の推薦樹種の中からのピックアップになるが、ピンク系に統一したということではない。

委員	建物がアースカラーだと気持ちが沈みがちになるので、個人的な好みだが、植物・花は白系の色で統一するときれいになると思う。 斎場は静かだが、暗くならないところであってほしいと思う。
事務局	事業者と植栽の色味のところで考え方を摺り合わせして、最終的なメンテナンスを含めた総合的な判断になるかと思うが、アドバイスとして検討させていただきたい。
委員	私は浪岡斎園しか見ていないので、現設計がうらやましいと思った。 故人が過ごした想いや家族のお別れの時間を過ごすというコンセプトに合うデザイン設計だと思う。前回の審議会（計画段階）のときも色々な提案があり、意見が総合的に組み込まれている（反映されている）と思った。
議長 (会長)	浪岡斎園は、アプローチが素晴らしいと思う。
委員	実際、青森市からも浪岡斎園を利用されている方は多い。 今、家族葬が多いので、それに合わせた落ち着いた感じも良いと思った。
委員	浪岡斎園の場合、お骨あげまで1時間40分かかかるが、現在、青森の斎場はどのぐらいの時間がかかっているのか。
事務局	告別の時間も含めるとかいろいろな計算方法があるが、2時間程度である。 新しい斎場もそれほど時間は変わらない。
委員	炉は全部点火するのか、それとも15分～30分ずらして点火するのか。
事務局	仰るとおり、この新斎場では8炉のうち7炉を稼働して、7炉を1件あたり15分から30分ずらすことで、1日14件で考えている。
議長 (会長)	皆さんの意見から、白い花が欲しい、回遊する遊歩道、雪庇は目立たないようにしたいなどたくさんの意見が出たが、メンテナンス性も含め、良い斎場を造ってほしい。 本審議会としては異議なしということで締めたいと思うがどうか。
委員	(異議なし)
事務局	報告案件1 青森市景観計画の改定 「【配布資料】青森市景観計画の改定」に基づき説明。
議長 (会長)	景観計画の内容について異議なしということで、特に意見等無ければこれで本日の案件は全て終了としたいと思うがどうか。
委員	(異議なし)
	<終了>